

Soils and Foundations の 2023 年 1 月投稿分からの APC 値上げについて

公益社団法人地盤工学会

Soils and Foundations 編集委員会 委員長 古関 潤一

Soils and Foundations は 2020 年 1 月号よりフルオープンアクセス化されました。全ての論文がインターネット上でアクセスフリーとなった結果、2020 年の Impact factor は 2.436 となり、前年度の 1.756 から大幅に上昇しました。この出版編集費用に充当するために、2019 年 7 月以降の投稿分から APC (Article Publishing Cost, いわゆる論文掲載料に相当) として一編当たり \$1000 のご負担を掲載論文の著者をお願いしてまいりました。

このたび、上記フルオープンアクセス化後の投稿・採用論文数の動向を踏まえつつ、2023 年 1 月以降の投稿分から APC を一編当たり \$1200 に値上げさせていただくことといたしました。著者の経済的なご負担を増加させることになり、たいへん心苦しいのですが、出版編集会計を健全化させるうえで導入せざるを得ない措置ですので、ご理解を賜れば幸いです。

なお、2023 年 (令和 5 年) 度までは科学研究費補助金の研究成果公開促進費が交付される予定のため、JGS 若手会員が筆頭著者となっている論文の APC 免除と英文校正サービスを、これまでと同様に継続させていただく見込みです。一方で、この補助金が終了する 2024 年 4 月以降は、これらのサービスと APC 所要額を見直しさせていただくこととなります。

Soils and Foundations の将来構想に関する検討の詳細につきましては、以下をご参照ください。

https://www.jiban.or.jp/wp-content/uploads/2019/07/67-6_p40.pdf